

平成28年度

AIA国際活動助成金交付事業報告

2017.3.31現在

平成28年度AIA国際活動助成金交付の事業報告をします。

1期募集で9団体、2期募集では3団体、合計12の団体がAIA国際活動助成金の交付を受け事業を実施されました。

秋田県在住の外国人に母国のお料理を教えただく講習会を開催することで異文化理解が促進され、また留学生と地域住民が共に活動することで交流が深まり、地域の活性化が実現され多文化共生の推進となりました。

今後とも、秋田県の国際化、および多文化共生推進活動にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

※ご覧ください※

ホームページ

URL: www.aiahome.or.jp

facebook



公益財団法人 秋田県国際交流協会

Akita International Association(AIA)

〒010-0001

秋田市中通2-3-8 アトリオン1F

TEL: 018-893-5499

FAX: 018-825-2566

E-mail: aia@home.or.jp

団体名	事業名	交付金額	事業概要
一般社団法人 大曲青年会議所	中和国際青年商会 一般社団法人大曲青年会議所 交流事業	80,000	中和国際青年商会と26年前から交流を開始し、国際協力・文化交流を目指して活動を継続している。来年開催される国際花火シンポジウムのプレ大会に招待し、大会と秋田県のPRをし、台湾と日本・秋田が更に深まるよう交流事業を行った。
日本ベトナム友好協会 秋田支部	映画「ベトナムの風に吹かれて」上映と交流会	80,000	日本初の日本・ベトナム合作映画「ベトナムの風に吹かれて」の上観賞を通してベトナムに関心を持ってもらうことを目的に開催。会場ではベトナム物品の紹介も行い、またベトナム留学生との交流を通じてベトナムを身近に感じてもらうこととした。
バハイクーボの会	"Philippine Fiesta in Akita 2016"	5,000	フィリピンの料理を教えながら、皆で料理をする。その後、いつ、どんな時に、誰と食べるかなど伝え、フィリピンの料理とそのおいしさを、秋田の人に紹介した。
JAあきた北 比内地鶏生産部会 部会内青年部	比内地鶏を使った海外の家庭料理の料理教室 (台湾編)	40,000	台湾出身の講師に鶏肉を使った家庭料理(テーブルミート)を、料理教室という形で実施する。作った料理を食事しながら、料理に関する意見交換等、交流懇親を行う。食文化を中心とする異国文化の理解を深めるとともに、講習で作った料理のレシピを各種イベント来場者、地域、友人、知人に伝授していく。

AIA国際活動助成金交付事業一覧

2017.3.31現在

団体名	事業名	交付金額	事業概要
草木谷を守る会	山田の盆踊りde国際交流プロジェクト	80,000	昨年「山田の盆踊り復活プロジェクト」によって復活した活動を今年も実施。今年には留学生及び定住外国人の参加数を増やし、地域住民と盆踊りを通じて多文化が共生する新しいコミュニティを作り、持続的に参加できる行事とする。踊り・太鼓・笛などの体験及び終了後の懇親会で国際交流を行った。
鹿角国際交流協会	国際理解講座 講演会『真の国際人を目指す方程式』	80,000	国際交流を通じて国際社会に対する意識や相互の意識を高め、国際社会に対応しうる人づくり及び地域づくりに貢献するために講演会を開催する。一部はショブロン市で日本語語学指導を努めた佐々木氏の報告会、二部には数学者であり大道芸人でもある多才な国際人ピーター・フランクル氏の講演会。講師を囲み懇談会を開催。
公益社団法人 由利本荘青年会議所	韓国梁山青年会議所 訪問団 来荘事業	80,000	児童絵画事業で選ばれた児童同士のホームステイ交流を行い、国際相互理解の促進を目的とする。将来を担う児童たちが異文化を学び体験し、国際的な友情を育むことができた。
秋田ユネスコ協会	外国人による日本語スピーチ・コンテスト&話そう！築こう！平和のためにできること	80,000	I部の日本語スピーチ・コンテストでは、秋田に住む外国人が日ごろ習得した日本語で意見を発表することによって、日本語能力の向上を図ると共に、聴く方もスピーチの中から新しい視点を得、「共に生きる国際社会」の実現をみんなで考える機会とする。II部では、全員参加で、グループ毎に「平和を築くためにできること」を発表し、ワークショップ過程を通して、「平和への学び」を深める。
男鹿市国際交流協会	『2016あきたベン 弁論大会並びにクリスマスパーティー』	50,000	外国人が、秋田県に住んで感じたことや将来のことを、秋田弁を交えてスピーチしてもらい、市民と県内在住外国人との相互理解の場とする。さらに、市内中学生による英語スピーチを披露し外国人との交流を図る。県内在住外国人と市民、子どもたちが他国の文化や人々に触れ、世代を超えて交流することができた。
石川翁遺跡保存会	留学生が見つけた 『ワクワク』写真展	79,000	留学生による写真展の開催を通して、地域住民に留学生との交流機会を提供すると同時に、地域住民が留学生の視点から地域の良さを再発見し、地域で生活続けるモチベーションを向上させることを目的に行った。地域住民の皆さんが本事業の目的を十分に理解し、その意義を認めてくださった。
大仙市国際交流協会	韓国LABO青少年受 入事業	80,000	韓国LABOの青少年と大仙市内の青少年が相互交流することで、異文化を理解する力やグローバルな考え方、コミュニケーション能力を養う。大仙市内の学校で学校交流・給食体験、また日本文化体験やホームステイ、スキー体験、雪かきボランティアを通じて韓国LABO青少年と交流し、国を超えた友情を育んだ。
日本ベラルーシ友好協会	東日本大震災から6年 「いかに災害を克服するか」講演会	41,000	ベラルーシから専門家を招聘して、一般の皆様の教訓としていただくために平成29年3月東日本大震災から6年の講演会を実施。

